


市町村名：釜石市
学校名：釜石市立箱崎小学校
担当者名：高橋 道明

【地元の食材を利用した体験活動等を実施している事例】

<b>教科名等</b>	総合的な学習の時間（環境教育・ボランティア教育）・生活科						
<b>単元名等</b>	「海をきれいに」「大きく育て」「収穫をお祝いしよう」「鮭の新巻づくり」等						
<b>取組学年</b>	全学年	<b>取組時期</b>	4月～12月	<b>毎年実施の有無</b>	有		
<b>取組内容</b>	1 各学年のねらい						
	1学年	生活科	先輩たちが3年かけて育てたホタテの味を味わう。 校庭に作った竈に炭火をおこして焼き、みんなで会食する。				
	2学年						
	3学年	総合的な学習	ホタテの生産や鮭の新巻づくりの活動にふれ、箱崎の産業が海と深い関わりがあることに気付かせる。				
	4学年						
	5学年	総合的な学習	ホタテや鮭の加工活動等を通して働くことの喜びや苦勞を実感させ、箱崎の海をよりよくしていこうとする実践力を育てる。				
	6学年						
	2 各学年の活動計画						
	<b>教科等</b>	<b>活動名</b>	<b>活動学年</b>				
			1	2	3	4	5
環境教育（総合・生活）	海をきれいに（年間3回）						
環境教育（総合・生活）	大きく育て（ホタテネット清掃）						
環境教育（総合・生活）	収穫をお祝いしよう（収穫・会食）						
環境教育（総合）	海の生物を知ろう						
ボランティア教育（総合）	五葉寮に届けよう（ホタテ）						
環境教育（総合）	鮭の新巻をつくらう						
3 地域や保護者との関わり							
「海岸清掃（4月・8月・11月）」 箱崎町内会と保護者合同。空缶回収は通年実施。							
「大きく育て（7月）」 ・保護者に船をだしてもらい、漁協の方に操縦や指導を依頼する。 ・6年が乗船し、4・5年が母親達の指導で貝たたきをする。							

	<p>「収穫をお祝いしよう（7月）」 校庭に竈をつくり、児童と保護者・漁協役員や町内会役員を招待し、教師ともども炭火をおこして焼き、持参したおにぎりで昼食会をする。</p> <p>「五葉寮に届けよう（7月）」 収穫したホタテを特養施設の五葉寮に届ける。</p> <p>「鮭の新巻を作ろう（12月）」 漁協構内で指導を受け、一人一匹の新巻をつくる。</p> 
<p><b>本取組を行っている理由</b></p>	<p>箱崎トンネルをめけると箱崎漁港の海が視界いっぱいになり、少し油っぽい潮の香りが漂う。広いコンクリートの岸壁には、ねじり鉢巻き姿の大勢の男達が網を広げている朝の風景が広がる。本校は北は大槌湾、南は両石湾に面する箱崎半島に位置し、地区民の多くは定置網やわかめ、ホタテ、うに、あわび等の漁業を営む。最近では漁業だけの生活が難しくなっており、海との接点がない児童もいる。三陸の豊かな海を守り、海の幸を育て、収穫する喜び、食する喜びを地域から学び、体得させたい。</p>